

## 第6回 理事会

日時：令和元年10月24日(木)12:30~13:50

場所：アオーレ長岡ホールD会議室

出席者：脇坂会長(議長)、木方副会長、向山副会長、  
清水常務理事、伊藤、稲垣太田、大谷、大沼、  
奥村、長田、小俣、北田、黒木、小松原、金、  
鈴木、高橋、徳永、中曽根、原、船山、  
和田各理事  
欠席者：遠田理事  
(理事24名中23名出席(過半数)により理事会は成立)  
野村、齋藤監事

陪席者：熊谷(事務局)

議事内容：

### 1. 前回議事録の確認

- ・令和元年9月20日開催の第5回理事会の議事録案について承認した。

### 2. 審議事項

#### 1) 会員状況及び新入会員の承認

- ・2名の正会員の入会を承認した。
- ・10月21日時点では、正会員1,854名、学生会員40名、名誉会員59名となり、総数は1,953名であることを確認した。

#### 2) 日本応用地質学会表彰

- ・常務理事から、「名誉会員及び表彰規程」の改定案が説明された。前回理事会での指摘に基づき、学会表彰の進め方において「不定期」という表現を修正したものである。
- ・改定案について承認した。
- ・規程には盛り込まないが、表彰時期は、原則として名誉会員、論文賞表彰の年次の間の年とするとの説明があった。

#### 3) 台風19号災害調査団(仮称)の設置について

- ・会長から、東日本を中心に広範な被害をもたらした台風19号による災害に対して、当学会では災害対応本部を立ち上げたことが報告され、調査団の設置について審議を行った。
- ・調査団を本部において設置し、災害地質研究部会、応用地形研究部会および東北支部が核となって活動することとした。
- ・災害調査団の設置について、HP、ニューズリストで会員に周知するとともに、団員の募集を行うこととした。

#### 4) 委員会、研究部会、支部の出版物調査

- ・常務理事から、前回理事会の指摘事項を踏まえた修正版の調査票が説明された。
- ・調査票について、以下の事項を追加・修正することで内容を承認した。

- ・有無を問う箇所(プルダウン)は、「○」、「×」ではなく、「有」、「無」とする。

- ・転載許可が必要な引用図面等があるかの設問を新設する。

- ・ISBNコードの発行を受けているかどうかを設問に加える。

### 5) 災害調査団写真集の学会Web掲載について

- ・担当理事から、JSEGの英語版HPに災害調査団の写真集コーナーを新設する案が説明された。
- ・災害地質研究部会が掲載用写真(素材)を提供することとし、国際委員会からの依頼に基づき対応頂くこととした。

- ・英語説明文は国際委員会が準備し、外部の英語チェックを受けることとした。費用については、一般会計で処理する。

### 6) 外部委員の実態調査について

- ・常務から、「外部委員の実態調査について」が説明された。学会名を冠して外部に派遣あるいは委嘱を受けて学会員が活動する際に、選任の母体が明確でなく個人の負担が大きくなっている事態が生じていることによる。
- ・実態調査を行うことを了解した。依頼文については、報告事項の表現を分かりやすく修正することとした。

### 7) 台風19号他災害に係る会費減免措置について

- ・会長から、台風15号、19号による今回の甚大な災害に関して、定款7条③項に基づき、会費減免措置とする案が提議された。
- ・協議の結果、以下の措置を講ずることとした。
- ・今回の災害に対して会費減免対象とする。対象災害は、令和元年6月の総会以降(定款改定後)とし、台風15号、19号に限定しない。
- ・災害認定は、会員本人に対して罹災証明書が発行された場合とし、原則として家屋被災とする。減免額は、申請者数、被災程度によって後日、決定する。
- ・被災会員に対して会費減免措置をとることを早急にHPに掲載するとともに、ニューズリストで配信する。また、12月号で会告を出すこととした。減免額については、上記の案内、会告等では明記しない。

### 3. 確認事項

#### 1) 収支状況

- ・事務局長から令和元年度9月期の本部収支が説明された。
- ・支出については特に予算通りであり、問題は見当たらない。

#### 2) 著作権に関する注意通知について

- ・常務理事から、学会HP掲載文書の著作権に関する注意について確認があった。本文書は10月14日に委

員長，研究部会長，支部長に配信されたものである。  
関係各位に周知を改めてお願いした。

#### 4. 本部からの報告事項

##### 1) 令和元年度研究発表会関連

- ・担当理事から，来年度以降の研究発表の実施方針について説明があった。
- ・来年度以降は事前申込，事前振込を全面的に導入する予定であり，以下の対応をとることが示された。  
なお，アンケートの結果から再度検討する予定である。
- ・参加費については，PDF論文集込みで6,000円程度とする。
- ・PDF論文集を分離した参加費は設定しない。
- ・冊子版の論文集は2,000円～3,000円に設定する。
- ・当日申込の参加費は8,000円程度とし事前申込に比

べて割高に設定する。

##### 2) 研究教育部門関連(次年度シンポジウム)

- ・木方副会長から，令和2年度シンポジウムのテーマについて5つの研究部会との協議結果が説明され，応用地形学研究部会が単独で担当することになったことが報告された。

##### 3) 先端技術WSの収支改善策について

- ・担当理事から，先端技術WS「応用地質分野で使い，役立つ，活躍するドローン」で赤字が発生した件について，前回理事会で指摘された収支改善策が説明された。今後は事前に適正な会費設定を行なわれたいとの指摘があった。

##### 5. 各委員会・支部からの報告事項

- ・総務委員会，事業企画委員会，応用地質学教育普及委員会より資料の提出があり，内容が報告された。